



平成 18 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社アップガレージ  
代表者名 代表取締役社長 石田 誠  
(コード番号：3311 東証マダース)  
問合せ先 専務取締役  
コーポレートサービス部長 三井 衛  
(TEL. 03-5457-1616)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 15 日の決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）の中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

1. 平成 19 年 3 月期連結中間業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 9 月 30 日）  
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	2,239	31	19
今 回 修 正 予 想 (B)	2,035	△13	△23
増 減 額 (B-A)	△204	△44	△42
増 減 率 (%)	△9.1	-	-
(ご参考) 前中間期実績 (平成 17 年 9 月期)	-	-	-

2. 平成 19 年 3 月期単体中間業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 9 月 30 日）  
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	2,199	68	31
今 回 修 正 予 想 (B)	2,005	8	△46
増 減 額 (B-A)	△194	△60	△77
増 減 率 (%)	△8.8	△88.2	-
(ご参考) 前中間期実績 (平成 17 年 9 月期)	1,932	50	13

3. 平成 19 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）  
（単位：百万円、％）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,715	55	33
今 回 修 正 予 想 (B)	4,202	△19	△32
増 減 額 (B-A)	△513	△74	△65
増 減 率 (%)	△10.9	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	3,941	99	29

4. 平成 19 年 3 月期単体通期業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）  
（単位：百万円、％）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,646	111	51
今 回 修 正 予 想 (B)	4,164	27	△59
増 減 額 (B-A)	△482	△84	△110
増 減 率 (%)	△10.4	△75.7	-
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	3,773	117	39

5. 修正の理由

(1) 中間業績予想数値の修正

当社グループの当中間期における業績につきましては、販売競争の影響から既存店舗での売上高が前年対比で大きく減少いたしました。売上高が当初予想を大幅に下回ったことにより、売上高及び経常利益は前回発表予想を下回る見込みであります。また、店舗別の収益状況から当中間期において、固定資産の減損損失 17 百万円を特別損失として計上する見込です。さらに個別財務諸表においては子会社である株式会社リーワンネットに対する子会社株式評価損 35 百万円を特別損失として計上する見込です。このため、連結、個別のいずれも中間純損失となる見込みであります。

以上の結果、中間期の業績予想について、上記のとおり修正を行うものであります。

(2) 通期業績予想数値の修正

中間期での売上実績、収益状況を勘案し、通期の売上高につきましては前回発表予想を 10.9% 下回る見込みであります。経常利益は、売上高が前回発表予想を下回ることと情報システム強化のための経費の増加が見込まれるため、前回発表予想を下回る見込みであります。また上記の理由に加え、固定資産の減損損失の計上及び不採算店閉店に伴う店舗閉鎖損失合わせて 26 百万円を特別損失として見込んでおります。さらに個別財務諸表においては、子会

社である株式会社リーワンネットに対する子会社株式評価損 35 百万円を特別損失として見込むことから、連結、個別のいずれも当期純損失となる見込みです。

以上の結果、通期の業績予想について、上記のとおり修正を行うものであります。

(注) 上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上